

国際サーカス村通信	VOL.19 N002	2014年 11月 11日 (火)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688	http://www.circus-mura.net	k-nishida@accircus.com

●総会のご案内

期日 2014年11月28日(金)午後5時から
 場所 国際サーカス村協会・東京事務局
 電話 03-3403-0561
 メール k-nishida@accircus.com
 議題 平成25年度事業報告・会計報告(別紙参照)
 平成26年度事業計画(下記ご参照)
 *同封はがきにてご出欠をご連絡ください。

●平成25年度事業報告書

1 事業実施の成果

放射能の影響による休校以降、現在まで相変わらず生徒数は少なく、現在は1名の休学生を含めて7名であるため、経営は極めて厳しい状況が続いている。そうした状況下、今回新たに“サーカスはリヤカーに乗って”というプロジェクトを立ち上げ、3月9日の“力あわせる200万群馬3・11 さよなら原発アクション”に参加し、11日に、雪の残る足尾・親水公園脇より、ツアーをスタートさせた。このツアーのひとつの目的は、東日本大震災・福島第一原発大事故(事件)以降、僕ら自身の文化活動はどのようにあるべきかを問いかけることであった。いいかえれば、2011年3月11日以前と同じような活動をするのであれば、この大災害(大事故・大事件)から、僕ら自身、何も学んだことにならないのではないかと、大きな疑問があるからである。特に、原発事故(事件)は、原発に頼らない生き方をするために、また原発に頼らない国の有り様を探るために、ぼくら自身どうすればいいかを、問い続けることであった。この問題は、今もなんら解決していないので、今後も継続して追求していかなければならないだろう。そのような状況のもと、今年度の成果は、具体的な行動を行ったために、各地に新たな多くの人々との関係が生まれ、そうした方々と新たな活動を行う可能性が出てきたことが挙げられるだろう。すでに行えた活動としては、長野で京本千恵美『ここはどっちへ?』の公演ができたことであり、大きな意味でそれを支えてくれたのは、長野駅前で行なわれていた反原発金曜日行動を行っている方々であった。このような活動を僕ら自身の活動の一環として位置づけることができれば、これは、新たな文化活動として、今後、多くの成果を生むのではないかとと思われる。

また、関東短期大学アザリア祭でのサーカス公演のために、卒業生田中健太が作・演出した『サーカスはリヤカーに乗って～港の街篇～』を用意できたことは、サーカス学校卒業生と生徒たちの共同作業の成果とみなすことができるのではないだろうか。

2 平成26年度事業計画

まずは、現在のサーカス学校生徒の自立である。これまでの生徒と違い、現在いる生徒の多くは、一本立ちしようとする意志、気力が弱いように思える。そこをなんとかしなければならぬと思うので、課題を

与えてそれに挑戦するように指導していきたいと考えている。これは、前期に集中的に行っていこうと考えている。

“サーカスはリヤカーに乗って”プロジェクトは、後期、沖縄を目指すつもりなので、その資金繰りを含めて、前期中に計画を練るつもりである。

3番目は、他のパフォーマーとの共作、あるいはパフォーマー公演の制作である。これは各地で知り合うことのできた人びととの関係をより深めるためであり、その輪を広げるためでもある。当然のことながら、そうした作業のなかにサーカス学校の活動をいかに組み込んでいけるかという課題がある。

大切なことは、これまでのサーカス学校の活動をより外向きにいかに広げていけるかである。これは、2011年3月11日以降、ぼくらに課せられている課題であり、ここで内向きになっていくのであれば、それは、活動そのものが尻すぼみにならざるを得ないように思われる。

● 沢入国際サーカス学校 冬の発表会のお知らせ

生徒たちが普段の鍛錬の成果を披露します。みなさん、お誘い合わせのうえお越しください。尚、会場には十分な暖房設備がなく、大変寒いので、暖かい服装、ブランケット、敷物、厚手の靴下などをご持参のうえお越しくださいますようお願いいたします。

■日時 12月20日(土) 15:00/21日(日) 13:00 観覧無料、カンパ大歓迎!

■場所 沢入国際サーカス学校体育館 ※駐車場あり

〒376-0301 群馬県みどり市東町沢入 491 旧沢入小学校体育館

■最寄駅 わたらせ渓谷鉄道『沢入(そうり)駅』より徒歩約8分

● ”サーカスはリヤカーに乗って～港の街篇～” 公演 (西田敬一)

去る10月26日(日)に、関東短期大学・アザリア祭で、上記の作品を上演させていただいた。この作品は、今年の7月、サーカス学校13年度の後期発表会での作品だが、卒業生の田中健太が中心になり、卒業生の鶴貞浩(サクノキ)と柏木清香(キヨノカ)の2名に参加してもらい、在校生とともに作り上げた作品である。卒業生が作品をまとめる作業はこれまでも行っているが、現在、反原発活動に参加しつつ、新しい表現の方法・実践を試行している“サーカスはリヤカーに乗って”と連動させた作品作りという意味では、大きなチャレンジだったと言える。

ショーの参加者に、その意味合いというか、意図を強調しながら作品作りをしたのではなく、それぞれの技の披露を下支えするために、とある港街にリヤカーに乗った、小さなサーカス団がやってきたという状況を設定し、港街のさまざまな人々と一緒になってサーカスショーを展開する仕掛けを、田中健太が用意した。サーカス学校を出て、反原発活動に参加したり、ほかの街で、サーカス学校生徒・卒業生ではないパフォーマーと一緒に“サーカスはリヤカーに乗って”の活動を行ったりしていることを、在校生がどこまで考え、また共鳴しているかどうかはわからないし、実は本人たちに問いかけてもいない。それというのも、問題は指導する側としては、言葉だけではなく、身体の動き、態度などから、嗅ぎとってもらいたいと思うからである。

そして、ぼくとして考えなければならないのは、次の“サーカスはリヤカーに乗って”活動をどうするかである。これは事業計画にも書いているが、来春には、なんとか沖縄を目指したり、サーカス学校以外

のパフォーマーと公演企画を考えたり、あるいは彼らとの作品作りを模索しなければならないだろうし、これまでの実践活動で知り合うことのできた人々となにを共有し、一緒に何ができるかといったことも考えていきたいと思う。今、静岡のパフォーマーたち、秩父の人々、長野の人々、そして大阪の能勢農場で働いている人びとのお顔が浮かんでくる。

こうした試みは、これまでの自分の文化活動を反省的にとらえてのことであるのはいうまでもない。

● “サーカスはリヤカーに乗って” 中間報告3 (西田敬一)

福井・京都周辺での活動以降、一旦、サーカス村に帰り、9月16日にサーカス学校14年目開校のために、体育館のドアを開けると同時に、10月3日(金)4日(土)に、長野市のネオンホールで公演の京本千恵美『ここはどっちへ?』の稽古に入る。

9月18日(木) 堺市に住む上坂直之・晶子宅へ(ともに卒業生)。ケン太とともに伺う。19日(金)葛城市に住む、綱渡りの清水恒男氏の野外稽古場に伺う。昼食に美味しいそばを食べ、その後、維新派が準備している野外の会場へ。松本雄吉氏に会う。

5時前に、関西電力本店前に向かう。実は、ここから、関西よつ葉連絡会が準備した”川内原発再稼働反対キャラバン”に参加し、鹿児島までのキャラバンに参加することにしたのである。以下は、鹿児島までのキャラバン活動報告。

19日(金) 関西電力本店前から米子市へ移動。

20日(土) 島根原発PR館見学。

その後、松江駅・玉造駅・出雲駅・出雲大社駅で街宣活動。

21日(日) 浜田駅・益田駅・萩駅

22日(月) 長門市駅・山口県庁前・山口駅

23日(火) 新山口駅・徳山駅・岩国駅

24日(水) 松山駅・伊予電鉄松山駅・四国電力松山支店・愛媛県庁前・今治駅・西条駅

25日(木) 伊予駅・大洲駅・宇和島<道の駅きさいや広場>

26日(金) 別府駅・佐賀県庁前・佐賀駅・玄海原発へ<時間外でなかへ入れず>

27日(土) 唐津駅・薩摩川内市へ<川内原発再稼働阻止・全国相談会>に参加。

*翌日の川内原発ゲート前集会で、“サーカスはリヤカーに乗って”のリヤカー展示とケン太のパフォーマンスをさせてもらえるように相談。OKをとる。

28日(日) ゲート前抗議行動に参加(約190名参加)

その他、海岸に建てられたテント村を見て、鹿児島市の天文館公園の全国抗議集会の参加(約7,000人が参加)

各地の駅頭で、よつ葉連絡会の方々の方々の街宣に加わり時折マイクを握らせてもらったが、通り過ぎる人々に話を聞いてもらうのは、相当に難しいことであった。リヤカーという、いわば小道具、そしてケン太の長足でのアピールは、女子高校生など若い人々中心に多少は関心を持ってもらうことができたが、まだまだ、訴え方がたりないというか工夫が必要だと感じる。”リヤカーの旅”は、各地のさまざまな集会などで、自分たちの行っていること＝サーカス学校で身につけたことを活かして何ができるのかが課題のひとつでもあるので、このことは自分たちの問題としてしっかり考えていかなければならないだろう。



↑川内原発ゲート前抗議集会



↑関東短期大学アザリア祭公演

28日(日)天文館公園の抗議集会後、太宰府市の友人・藤村信一宅へ。藤村氏は奥さんの麗さんと一緒に、シルクロードの旅を計画中。実は一緒に行こうと誘われていたのだが、“リヤカーの旅”を始めてしまったので、長期間の海外へ行けなくなってしまったので、申し訳ないとお断りをする。残念だが、仕方がない。

29日(月)朝8時すぎに、サーカス学校卒業生のフクちゃん(クラウンペケ)が登場。福岡市・志免町で行われている国際コメディフェスティバルに参加していたので、前日、会えないかと電話していたのだが、まさか、彼の方から来てくれるとは。藤村御夫婦、フクちゃん、ケン太と朝食を食べながら、あれこれよもやま話を。

朝食後、一気に群馬・サーカス村に直帰することにして、ケン太と交互の運転をして、15時間半ほどかけて、資料館に到着。老骨に打たれた鞭の後・疲労が、2,3日、残りましたよ。

10月1日(水)京本千恵美さん、サーカス村入り。稽古。

3日(金)京本千恵美、関口渉事務局長、ケン太とともに、長野市へ。夕方、ケン太と一緒に、駅前の金曜日行動に参加。実は、長野市での『ここはどっちへ?』の公演時間を決めるにあたって、金曜日の公演時間7時半にしたのは、この金曜日行動に参加したいからであった。ここでの反原発行動は、田澤洋子さんという方がひとりで立ち上げた行動であり、それが今日まで休むことなく続けられているというもの。ところがその田澤さんが足を骨折したというニュースが入っていたので心配していたのだが、なんと彼女は車椅子で元気に参加されていたのにはビックリ。その彼女を含めて、金曜日行動に参加している方々が何人か公演を見に来てくれた上に、土曜日は数人しか来場者はいないにも関わらず、なんと4人の方がリピーターという驚き。初めての長野での公演で何も宣伝できなかったことを考えると、公演をしたことは間違いではなかったし、むしろ今後のぼくらの活動はどうあるべきか。反原発活動などの社会的活動と公演活動などをどのように結びつけばよいか、それこそが今求められていると痛感する文化活動であるという考え方を新たに生み出していかなければならないと思える。

4日(土)京本公演2日目。公演後、サーカス村に戻る。

●川内原発異常なし!?(田中健太)

関西よつば連絡会のみなさん、こん

にちは。僕は、今年の夏、「サーカスはリヤカーに乗って」という企画で大阪の能勢農場にやってきました。普段は、他人様に自分の芸を見せて糊口をしのいでいます。

2011年3・11、僕が芸を習い覚えた、群馬県にある「沢入国際サーカス学校」という場所に、福島第一原発から放射能がやって来ました。3年経った今でも、施設や周りの家からは高い放射線量が検出されてい

ます。

昔から忌野清志郎のファンだった僕は、彼の歌をただの音楽として聞いていたことを激しく後悔しました。これ以上の後悔をしないために、僕と「サーカス学校」の校長は脱原発のための企画「サーカスはリヤカーに乗って」をスタートさせました。

夏に能勢農場にお邪魔した時、今回の川内原発へのキャラバンの話を聞いた僕らは、参加させてもらえないかとお願いしたところ、快く了解をいただいて、今回の運びになりました。

それにしても、よつ葉のみなさんは懐が深い。僕だったら、こんな胡散臭い二人組のことは絶対に信用しませんけどね。

さて、9月18日、関西電力本社前からキャラバンはスタートしました。僕もパフォーマンスをやったのですが、通りを挟んだ向かい側には有名なサーカス「シルク・ドゥ・ソレイユ」のテントがあり、初っぴなから刺激的なスタートになりました。

立ち寄った町々の駅前で街宣（僕はパフォーマンス）をしながらキャラバンは進んでいきました。自分の仕事は、普通に話やデモをただけでは通り過ぎてしまう人たちの目を引きつけることだと思っているのですが、この間はとにかくそれに必死でした。よい経験ができたと思っています。

そして、川内原発のゲート前と鹿児島市での集会&デモでも高足のパフォーマンス。

集会は人がたくさん集まったのはいいけれど、もう少し音楽やアート系の出演者がいてもよかったような気がしました。ま、その分僕が目立てたからいいけれど。

デモでは、あえて真面目なテンションでは参加せず、楽しい雰囲気をつくるかを考えて歩きました。それが仕事だもの。沿道からたくさんの人たち（参加者ではない）が手を振ってくれて嬉しかったです。そんな感じでキャラバンは終了。

最後になりましたが、カンパしてくれた皆さん、応援してくれた皆さん、ありがとうございました。息切れしないように、最後まで闘いましょう。

●ヘブンアーティスト審査委員を降りる（西田敬一）

東京都の依頼を受け、ヘブンアーティストの審査を第1回目から行ってきたが、今回の14回目を区切りに、来年度から審査には参加しないことを、今回の審査会議の最後に、都の関係者及び他の審査委員に伝えた。

大きな理由は、東京都が、安倍首相の”放射能は完全にコントロールされている”という、世界、そしてIOC委員会に向かって大嘘をついたにも関わらず決まってしまった2020年の東京オリンピックを開催する東京都、また東京都教育委員会の日の丸・君が代への忠誠を強制する考え方を批判するためである。さらに付け加えれば、今回の新たに審査委員を選ぶにあたっての担当者とのやりとりでの問題があるが、これは瑣末な問題なのであえて報告はしないことにする。

審査委員を降りるのではなく、次回は依頼があっても拒否しますと伝えたので、よもや依頼はこないと思うが、で、今回の上野でのヘブンアーティストTokyo（10月24日～26日）のチラシを1枚も送ってこなかったのには、いささか驚き!!今回の審査までは担当しているのだから、儀礼的にも、チラシの1枚ぐらいは送ってくるべきだろう。

ついでにいえば、今回の審査について、多くのパフォーマーが、その結果に不平を漏らしているようで、フェイスブックやツイッターがかなり賑わったという話を聞いた。今回のぼくの審査スタンスは、これまで何回か挑戦しているパフォーマーで、ぼく自身が楽しめる大道芸を行っているパフォーマーは、強く推薦させてもらったし、反対に、いいとは思えないパフォーマー、特にダンス系が多かったが、それがいい

いという審査委員がいる場合は、強く反対はしなかった。その結果、合格者が多くなったのは事実であろう。

それにしても、この審査に合格することが、つまりヘブン・アーティストの資格がこれほどまでに大切にされることには問題があるし、東京都がその資格保持者を優遇する、つまりヘブンのお祭りを用意していることに問題があるのではないだろうか。しかも、そのプロデュース業務がほぼ独占されていること、資格のない人が参加しにくいこと、それらもまた、ヘブンアーティスト制度の弊害といえるかもしれない。

★沢入国際サーカス学校が「未知の細道」に掲載されました。

NEXCO 東日本が運営する旅のレポートサイト。ライターが「名人」「伝説」「祭」「挑戦者」「穴場」という5つのテーマで、様々なジャンルの名人に密着したり、土地にまつわる伝説を追ったりして、その様子を伝えています。サーカス学校は「挑戦者」に書いていただきました。みなさん、ぜひ一度お読みください。

◆サイト「未知の細道」 <http://www.driveplaza.com/trip/michinohosomichi/>

最新 サークス公演情報

★木下大サーカス
●福岡公演 公演期間 2014年12月13日(土)～2015年2月9日(月) ●休演日；毎週木曜日と12/17,12/31,1/14。ただし、1/1(木)は開演。 ●会場；九大六本松キャンパス跡地特設会場 ●電話；福岡公演事務局 TEL092-712-3600
★ポップサーカス
●大分公演 公演期間 2014年11月29日(土)～2015年1月25日(日) ●休演日；12月2日、9日、16日、22日、30日、31日、1月8日、14日、20日 ●会場；大分スポーツ公園H駐車場 大テント ●電話；大分公演事務局 TEL097-540-6160(11/25まで) / 097-503-1011(11/25より)
★野外民族博物館 『ハンガリー・アメイジング・サーカス』
ヨーロッパが誇る大河ドナウ川が流れるハンガリーより9名のアーティストが来日。 ※サーカスは入園料のみでご覧いただけます。 ●公演期間 2014年9月13日(土)～11月24日(月祝) ●時間；平日 11:30/14:00、土日祝 11:00/13:00/15:00 ●休演日；毎週水曜日 ●会場；野外民族博物館リトルワールド野外ホール ●電話；野外民族博物館リトルワールド0568-62-5611

その他公演情報

★ながめくらしつ『誰でもない／終わりをみながら』
今回のながめくらしつ新作公演は、2つの作品で構成されています。ながめくらしつの作品が持つ、舞踊や身体表現としてのジャグリングの可能性、そして創り手や自身の心の中を垣間見る様な、夢と現実と記憶の狭間の世界に是非触れてください。 ●期間；2014年12月21日(日) 17:00/22日(月) 19:30/23日(火祝) 13:00 ●チケット；前売一般 3,500円 大学生 3,000円 高校生以下 1,500円 当日 4,000円 ※学生割引は、ながめくらしつのみ取り扱い。 ●会場；世田谷パブリックシアター(三軒茶屋駅直通) ●チケット取り扱い；世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515 もしくは、ながめくらしつ公式サイト http://nagamekurasitsu.com/ の予約フォームより。 ●お問い合わせ；070-5573-6248 nagameinfo@gmail.com